

タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成28年11月4日（金）午後7時～8時30分

場 所 鶴一会館（鶴ヶ岡一丁目町会）

参加者 47人



主な意見等

参加者 交差点の角の家に垣根があり、歩道が死角となっており危険です。個人のお宅の垣根を切れというのは無理としても、カーブミラーの設置などをご検討いただければと思います。

市 長 場所を確認し対応を取っていきたいと思います。そのような、ご近所のことと言いつらいようなことも市役所や町会長さんにご連絡いただければと思います。

参加者 けやき通りと山崎街道が交差する T 字路の横断歩道が見えなくなっています。市に言ったら東入間警察が担当だということで警察に連絡したら、県警本部との回答でした。どこが担当なのか、しっかり把握して対応してほしいです。

市 長 申し訳ございません。横断歩道は警察の所管ですが、早急に対応してもらえよう、再度連絡をいたします。

参加者 亀久保交差点に右折車線を設けてほしいと思っておりますが、どのような状況になっていますか。

市 長 亀久保交差点の改良工事に関しては長い期間をかけて取り組んで

います。県道なので県が担当なのですが、市も関わって取り組んでいます。補償の問題等があり、交渉中ですが、だいぶ大詰めのところに来ています。

参加者　　この会館のそばの鶴ヶ岡中央公園のことですが、以前は樹木の刈りこみをきちんとやっていただけでしたが、今年はまだやっていただけではありません。決まった時期というのはあるのでしょうか。対応をお願いしたいと思います。市に言ってもなかなか回答が来ません。

市　長　　以前から比べると件数も増えており、対応が追いつかない状況で、お待たせしているのは事実です。回答もないということで、申し訳ございません。早期にお返事するように伝えます。

参加者　　公園に関連しまして、この地域も新しい住宅が増えており、小さいお子さんがいる家庭も多いです。しかし、公園に遊具が少ないです。以前は多くありましたが、撤去されて年々少なくなって、今は砂場と滑り台しかありません。あと砂の入れ替えをしてほしいと思います。

市　長　　平成18年のプール事故以来、安全点検には力を入れておりまして、使える遊具は修繕を行い、老朽化して修繕できないものは撤去をしています。公園を、広場として有効に使えるようにするために遊具は端の方に持っていかうとか、遊具自体の安全領域の基準も変わっており、他の遊具との距離を取らなければいけないという状況もございます。しかしながら、その中でも何とか設置していきたいと考えています。地元の皆さんと話し合いをしてご要望を伺いながら対応を図っていきたいと思っています。

参加者　　私は保健委員をやっており、町会で健康教室を開催しています。参加者も多く、参加した人からは、「近所でやってくれてありがたい」という声をいただいています。このような教室を市でも町会単位でできないでしょうか。そんな計画はありますか。

市　長　　お話しいただいたことは、私もこれから力を入れていきたいと考

えています。現在でも東西双方でそういう教室を実施していますが、これからはもっと身近な場所で開催していこうと検討しているところ です。

参加者 全国的に、社会保障費は年々増えており、人口は減少しています。幸いふじみ野市は増加傾向ですが、若年人口が多ければ保育所などの施設も必要となります。ふじみ野市の人口の推移の見通しや、データを分析した上で、限られた財源でどのようにしようということを考えてやっていただきたいと思います。

市 長 私は子ども優先の政策を重点的にやってきました。保育所の増設や児童発育・発達支援センターの設置など、さまざまな子育て支援策を実施してきましたが、ようやく政策効果が出てきて若年人口が増えてきました。

人口ビジョンとして分析は行っています。今のところふじみ野市の人口は増えていますが、やがてピークが来ます。根本的には国の少子化対策や出生率の向上が必要ですが、ふじみ野市ではまず若年人口の転入促進を政策として行っています。しかしいずれみんな歳を取ります。対策として、学校の校舎をいずれは高齢者の施設として使えるように転換していくというようなことも考えています。

市内でも訪ね人が増えています。今後そういう例が増えていくと思います。そうすると市役所だけでは対応しきれなくなってくるので、自治組織が頼りです。皆さんに地域力を発揮していただき、市の地域づくりを進めていきたいと思っています。

参加者 将来を見越すと財源が不足して、十分な行政サービスができなくなると思います。そこで、元気な高齢者を市民サービスの担い手として活用していくことを考えて欲しいです。若干の資金は必要だと思いますが、どういうことが地域にお願いできるか、自治組織連合会などと話して考えて欲しいと思います。

市 長 まさにそのとおりだと思います。地域活動や高齢者の活動を活発にしていくことが必要です。いきいきクラブにサロン活動をしていただくなど、元気な高齢者に活躍いただける仕組みを作っていく

いと思います。

参加者 市役所の各部署では、お金をかけていろいろなことをやっていますが、どういう効果があったか、結果を検証して欲しいと思います。やりっぱなしということがあるのではないのでしょうか。限りある財源でやることですので、必要なことだと思います。

市長 各部に部長マニフェストを作らせて、検証結果を出させております。内容としてはまだまだというところもございまして、頑張っていきたいと思います。
行政の常識は市民の非常識と常々言っています。私も行政色に染まらないようにしています。

参加者 市の経済対策はどのようにしていますか。最近の企業は内部留保が多いです。市は黒字が続いていると思いますが、お金を回すようにしてはいかがでしょうか。

市長 行政では後年度対策として、財政調整基金、公共施設整備基金、減債基金などを作っています。民間の留保資金とは意味合いが違います。しかし、市の貯金を使うことに効果があると思われる場合には、積極的にやっていきたいと思っています。